

令和6年5月定例教育委員会

○ 開催概要

○ 開催日時	令和6年5月24日（金）14時30分～15時53分		
○ 開催場所	県庁22階 教育委員室		
○ 出席者 （委員等）	教育長	柳 橋	常 喜
	教育長職務代理者	中 庭	陽 子
	委 員	中 田	俊 之
	委 員	市 原	健 一
	委 員	庄 司	一 子
	委 員	富 田	敬 子
	委 員	幡 谷	史 朗
（事務局職員）	総務企画部長	川和田	由紀子
	学校教育部長	庄 司	一 裕
	総務課長	宮 崎	薫
	教育企画室長	富 樫	仁 彰
	財務課長	山 本	晃 裕
	生涯学習課長	中 村	珠 美
	文化課長	真 木	陽 水
	私学振興室長	平 賀	靖
	教育改革課長	阿 部	将 昭
	義務教育課長	若 松	裕 一
	高校教育課長	深 澤	美紀代
	特別支援教育課長	仲 野	祐 二
	保健体育課長	高 橋	清

○ 議 案

議 題	案 件 名	担 当 課	公開・ 非公開の別
1 報告			
1	つくばサイエンス高校について	高校教育課	公 開
2 議案			
第4号議案	令和7年度使用県立特別支援学校の小・中学部、県立中学校及び県立中等教育学校（前期課程）の教科用図書採択方針並びに市町村教育委員会等が行う教科用図書の採択に関する指導方針について	義務教育課	非公開
第5号議案	令和7年度使用県立高等学校、県立中等教育学校（後期課程）及び県立特別支援学校（高等部）の教科用図書の採択方針について	高校教育課	非公開

※非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開会

教育長による開会の宣言後、非公開審議項目について提案し、各委員から了承された。

2 議事

(1) 公開審議

発言者	発言内容
【報告1】 つくばサイエンス高校について	
高校教育課長	資料①に基づき説明 (主な質疑・意見等)
市原委員	この問題に関しては前々から何度もご指摘させていただいているように、つくば市には県立高校を作ってほしいと要望があるぐらい中学校の卒業生がよその地域と比べてはるかに多いわけです。中学校の卒業生が多いのに、なぜサイエンスの志願者が少ないのか、その根本的な原因について何か調べられたんでしょうか。
高校教育課長	原因の1つとして、科学技術科というと理系の学科であり、中学3年生の時点で、理系が好きだ、あるいは理系が得意だと決めるのが難しいといった意見を聞いております。
市原委員	原因は主に、理系だから希望者が少ないということですか。
高校教育課長	ニーズをしっかりと把握できていないという部分になるのかもしれませんが。
市原委員	もうできて2年目ですよ。志願者数がわずかでも増えているならともかく、去年は72名で、今回68名に減って、状況はますます悪くなっている。この状況から根本的にどうすべきなのか。 それともう1つ。片方では、県立高校を作ってほしいという要望がつくば市から出ていますが、県が力を入れている高校では、毎年希望者が減っている。ただ半分を普通科にして、この状況は解消できるのでしょうか。
高校教育課長	高校の特色、特徴について、我々から中学生や保護者、地域の方への広報活動が足りないとも感じております。 そういう部分では、それぞれの高校の特色について、どのように中学生や小学生、保護者の方にお伝えしたらいいのか、その広報のツールについても、しっかりと検討していかなければいけないと考えております。
市原委員	今言った2つの問題があつて、どちらも改善・解決の見通しがついてないわけです。 片方では、中学校の卒業生が増えて、つくば市内に高校を作ってほしいとの要望がありながら、片方では、工科高校をこのサイエンスにして、それだけではないけれども、その受け皿の一部にしようと思つていたところ、地元の中学生在あまりそういう気持ちを持たない。これはミスマッチだと思う。 理系に進学を希望するお子さん方が少ないからということだけで済ませて本当にいいんですかね。根本的に何でサイエンスに進学しないのか

	<p>という理由は、さっきのお話以外にはありませんか。</p> <p>私はずっと昔からあそこを知っているけれども、古い校舎を見て新しいサイエンス高校という雰囲気を感じないんですよ。</p> <p>確かに中にはすごい機材がそろっていますが、校舎を見ると、昔の農業高校のままで、あまりあそこに行ってサイエンスをやりたいって気持ちを持つのは難しいような気がするけど、そういう意見はなかったですか。</p>
高校教育課長	<p>市原委員おっしゃるとおり、見た目、外観といった部分について、ご意見がないことはないのですが、中の研究施設はかなり充実していて、大学の研究施設と同じように整えております。</p> <p>生徒が直接関わるような見えない部分に力を注いでいますが、その部分のアピールが足りないと思っております。外側部分についてもご意見としていただきたいと思っております。</p>
市原委員	<p>中学生が受検するわけですから、中学生があそこに行ってみたくてという気持ちになるような学校づくりがちょっと欠けているのではないかという気がします。</p> <p>もう1つ、通学にあまり立地条件が良くない。駅から遠いし、バスもそんなに充実はしてないようなので、以前、中田委員が寮を作ったらどうかという意見もありました。そういうことも含めて、ここで皆さん真剣になって、このサイエンス高校を今後どうしたらいいかっていう意見は今まで数多く出ました。普通科だけでお茶を濁して本当にいいのかなと、この結果を見て心配になりました。</p>
教育長	<p>原因として中学3年生が理系の進路選択を決めるのが難しいということと、市原委員からつくば市への普通科設置に対するニーズが高いとのお話がありました。</p> <p>中学3年生自身による理系の決定が難しいというところと、普通科のニーズが高いという点で、つくば市の周辺高校における普通科の倍率の現状の説明はいかがですか。</p>
高校教育課長	<p>周辺の学校における普通科の倍率が高くなっている実状はありますので、県立高校の普通科を選んでくれた生徒をしっかりと預かりする場所として、つくばサイエンス高校に普通科を設置するという事は、ニーズにかなっていると考えます。</p>
市原委員	<p>毎年事態が改善していないので、つくば地域の中学生の受け皿をどうするのか、しっかり考えていかなければならないと思っておりますし、私はつくば市と県が、地元のお子さん方の要望をどうやって把握するのか、きちんと情報交換をした方がいいのではないかって気がします。よろしくお願ひします。</p>
教育長	<p>地元の中学生のニーズ、中学校の先生方の声という点で何かありますか。</p>
高校教育課	<p>つくば市の総務部総務課が窓口になって、そちらの方々と年に1度定期的な意見交換をしながら、中学校の人数の状況を聞いたり、我々の推計値をお示ししたりというような情報を交換しています。</p> <p>あわせて、学校が主体的に中学校訪問をして、近隣の谷田部地区の中学校等を重点的に回り、生徒の進学に対する思いや、学校に対するイメ</p>

	一ジといったものを聞き取らせていただいておりますので、そういったものをいい方向に反映させていきたい。
市原委員	どういう意見が出ているんですか。
高校教育課	中学校訪問で多いのは、我々は進学校と謳っているのですが、保護者にとっては、改編したばかりで進学実績がないので、入ったからといって出口でしっかり進学ができるのか確証がないというのが正直なところで、選ぶ踏ん切りがつかないというお話はいろいろ聞いています。
市原委員	つくば市側から要望はないですか。相変わらず県立高校を作ってほしいという要望は。
高校教育課	当然学校を作ってほしいという要望は毎年いただいております。 また、昨年度は牛久栄進高校を1学級増とさせていただきましたが、同じように、県立高校の定員増も検討してほしいというような要望をつくば市からいただいております。
市原委員	何でつくば市では作らないんですかね。
高校教育課	小中学校をいろいろ作っていらっしゃる状況はありますので、財政的な部分であるとか、あとは、小中学校に比べていわゆる教員の人件費的なところで負担が多くなってきますので、市としては、なかなかそのような判断をするのは難しいのかなと推察しております。
市原委員	その辺も含めて、市と県で、もっと深く根本的なところを協議していただきたいというのが私の考えです。
中田委員	先ほどの中学3年生で理系、文系は決めがたいというご意見ですけれども、この普通科に行ったけど理系をもっと進めたいと思ったら、科学技術科に移ることはできるのか。また逆に、科学技術科に行ったけど、普通科に移ることができるのか。それがないと、先ほどの理系を決めがたいという解決にはならないと思う。定員いっぱいになると難しいと思いますが、定員に余裕がある状況であれば、その移行ができるのかどうかをお伺いしたい。 あと1つ、つくばサイエンス高校を訪問したときに「工業科だからできない」「工業科の枠を超えられない」と言われたんですが、その工業科の枠を超えるために、このような特別な学校を作ったのではないかなと非常に感じました。そのあたりは何か変わったのでしょうか。
高校教育課長	1つ目の「学科を変える」というのは、難しい部分ではありますが、この3クラスの普通科は文理融合型といって、文系とか理系とか分けなくて科目を選択できるので、歴史的なものが得意ならそういう科目を選べばいいし、理系がやりたければそのような選択をすればいいと、ある意味自由な形で進めることをコンセプトとしております。
中田委員	これだけいろいろできる普通科はないと思うので、普通科はそれでいいと思います。ただ、中学3年生のとき、科学技術科を選択して進んだ子は、普通科に行けなければ、結局理系という選択肢になりますよね。そこに逃げというか、回避できる方法がないと、結局サイエンスは人気がないままになってしまうと思うんですよね。
高校教育課長	単位制のため、科目を選ぶことはできますので、例えば、2年生でロボット、情報、建築、化学生物の4領域に分かれるとはいえ、教育課程の中で自分の興味がある科目を取っていく選択の自由はある程度ござい

	ますから、どうしても数学をやらなければいけない、そういったところではないです。
中田委員	それでは文系の大学を受験できる学習ができるんですか。
教育長	<p>数学、理科の単位数を取ってある分、文系科目の国語といった単位数が若干少ないという部分はどうしてもあります。</p> <p>基本的に今は学部学科に関しては文理融合で、大学入試も科目選択の自由度が増しているので、2年生、3年生の選択科目によっては、かなり幅広く受けられるというところもあります。</p>
中田委員	私の経験では、高1では数学が好きでも、高2で全くついていけなくなって高3になるとか、そういう子たちが結構いました。あと、私の学校では、高2まで理系だったけど、高3になって文系に移ることがあったので、そこら辺の選択肢を作ってあげないと、結局人気が普通科に出るかもしれないという気がします。
高校教育課長	工業の枠を超えるという部分については、現実的に工業の枠を超えて何がやりたいのかというところが大事だと思うんですが、この科学技術科の教育課程の中でも、かなり広く選択ができるようにしてございます。それは、もともとの工業科の科目プラスアルファで科学技術科という形に設置しておりますので、制約はそれほど多くないと考えております。
中田委員	視察に行ったときに「我々がこういうことはできないんですか」と言うと、先生から「工業科なのでできないんです」というお答えが多かった。具体的に何だったかは記憶にないんですけども、その枠が邪魔なんじゃないのかとすごく思いました。県の肝煎りでやるのであれば、そういった枠を取っ払えるような学校にしていかないと、結局、工業科の延長になるのではないかと非常に強く感じました。
高校教育課長	今2年生まで進んでおりますが、この後そのようなお話をいただいたら、対応できるような形で検討していきたいと思っております。
中田委員	ぜひ邪魔な枠なら取り外してください。
富田委員	今回、科学技術科が半分になり、その分普通科ができるというお話で、先生方の配置、異動はどうなるのでしょうか。普通科が設けられたことによって、一般教養的な科目を教える授業は増えると思うんですけども、対応する先生は他から異動させるのか。それと同時に、科学技術科のみであった場合、理科や機械といった専門性の強い先生がほとんどでいらしたのではないかと思います。その方達をどうなさるのか。今の先生方の体制で、この2つの学科の並走が可能なのかどうかお伺いします。
高校教育課長	富田委員がおっしゃったように、いわゆる共通科目のコマ数が増えますので、人員としてはそれに対応する配置になると考えております。
高校教育課	補足をさせていただきますと、今のつくばサイエンス高校は元のつくば工科の4学級体制が6学級になって学級数が増えている過渡期になっております。それに合わせて教員も増えていくという状況にあるので、当然、工業系の科目の先生が多い中で、今度は普通科目の先生を入れなければならないという状況ではありますが、トータルの教員数としてはそこまで大きく変わるものではないので、いわゆる定期人事異動の中

	で、その辺のバランスをとっていくことになると考えております。
教 育 長	<p>完成してからだと教員の配置が若干難しいと思いますが、まだつくば工科が残っていて、サイエンスも作り上げている途中ですので、そこは柔軟に対応できるということになります。当然慎重に判断していくというところでもあります。</p>
庄 司 委 員	<p>普通科のコンセプトについて、サイエンス高校という名前だからと思いますが、すごく理系重視であるなど感じております。</p> <p>普通科という名前にするのであれば、こちらの入学希望生徒を増やすことを考えたとき、普通科のコンセプトの2つポチがあるんですけど、「理系を重視しつつ」とか「県内唯一の科学技術科の特色を」の表現を、あまり理系、理系と謳わず、もう少し普通科とか文理融合型に重きを置くようなコンセプトにした方がいいのではないかと感じております。</p>
中 庭 委 員	<p>私も庄司委員と少し重なるところがあるんですけども、科学技術科の欠員がこれだけあり、クラス数を減らさなきゃならないということは現実的だと思います。</p> <p>その中で普通科を作るわけですけども、そのコンセプトが科学技術科の特色を生かしたとか、理系の要素が強いということになりますと、保護者や生徒が科学技術科と普通科のどちらを選ぶか考えたときに、科学技術科は、ある意味工業に関する学科なので、ある程度枠が決まっています、実習などが多くて、進学に対する十分な単位がそろえられないのではないかとということがあるわけですよ。それだったら科学技術科の特色を生かした教育を受けながら、文理融合で進学できる普通科に行ってもいいかなって思うのではないかと。</p> <p>そうすると科学技術科の希望者がさらに減ってしまうのではないかと考えるんですが、そのあたりはいかがでしょうか。</p>
高校教育課長	<p>科学技術科でも十分に進学対応できるような教育課程にしてございますので、大学に行くことについては、科学技術科を選んでも普通科を選んでも問題ない教育課程にしてございます。</p> <p>確かにこの普通科に少し理系色が強いのではないかとのご意見いただきましたけれども、ここはやはりPRの仕方だと思うのですが、今全学問分野に対応可能な文理融合型というんですか、文系とか理系とか分けられないんだよという社会の流れがございますので、この普通科に関しては、自分の好きな学問ができる大学に行って、その大学の学部を選ぶ前に、文系理系を高校でいろいろやりながら、どちらをやっているかと迷える3年間というんですかね、そういう形の教育課程を普通科で用意していきますので、その部分をしっかり生徒・保護者に伝えていきたいと思っております。</p>
中 庭 委 員	<p>工業に関する学科でも進学できるというのは分かるんですが、学校視察をしたときに「英語の補習をしなきゃならない」とか「授業の他にも対策をとらなければ」と先生方が言っていたので、学校側が懸念されているということは事実なのだろうなと思います。</p> <p>また、科学技術科を選ぶということに対して慎重になる傾向は、今後もあると思います。その中で普通科ができれば、今度はそちらに希望者</p>

	<p>が行って、これからの新しい知識や技術を身につけるためと大々的に打ち出した科学技術科が、なおさら生かされなくなってしまうのではないか、霞んでしまうのではないかということをご心配しております。</p> <p>この普通科のコンセプトを考えると、その辺もきちんと検討されたということによろしいでしょうか。</p>
高校教育課長	<p>そうですね。今後の我々の進め方、PRの仕方、その部分によると強く感じましたので、科学技術科も普通科も両方選んでもらえるようなコンセプトをしっかりと示しながら進めていきたいと思っております。</p>
教 育 長	<p>今のコンセプトのところですけど、もともとそのコンセプトにつながる一番大きな学科の目的が上の表で示されています。</p> <p>科学技術科は、2年生から4領域に分けており、これは普通科と全く違う教育課程になっています。普通科は、「理系を重視」と下にありますが、学校の施設設備があるので、理数系の探究を学ぶ「サイエンス探究」があり、また、通常の普通科の進学重視型単位制で文理融合型というところです。</p> <p>特に、2年生3年生の4領域のところがこの学校のこの学科の売りだと思っておりますので、説明はありますか。</p>
高校教育課	<p>科学技術科につきましては、2年生からここに記載の4領域に分かれていきます。工業に関する学科のため、工業系の単位数がある程度必要になりますので、その単位の中で、課題研究というものをしっかりやっていくというようなカリキュラムになっております。好きなものがこの4領域にあれば、それを極めてもらうということが分かりやすい表現かなと思っております。</p> <p>一方普通科については、当然普通科でもサイエンス高校の施設を有効活用していただきたいので、サイエンス探究とか、他にない施設や設備を十分活用できるような科目を置きたいと思っております。</p> <p>庄司委員や皆さんからありましたとおり、あまり理系に寄せすぎると誤解を与える懸念がありますので、PRの仕方については、この後学校と相談しながら進めていきたいと考えております。</p>
教 育 長	<p>科学技術科については、これまで何年間かご意見をいただいた中で、特に地元の研究機関や民間も含めて、課題研究とともに外からの専門家も入ってもらうような、通常の学校ではできない課題研究をやっているかと今年の2年生からスタートしている理解でよろしいですかね。</p>
高校教育課長	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>そういったところも含めて、2つの学科に対する魅力づくりをしていくというようなところでございます。</p>
幡 谷 委 員	<p>皆さんがお話したとおり、ニーズとミスマッチしたということだと思います。</p> <p>令和5年度に入った88名は2年生になられて、今年入った生徒もいます。今いらっしゃる生徒の皆さんが、これをどう受けとめているのか。心のケアまではいきませんが、「来年度うちの学校どうなっちゃうんだ」みたいに受け止めるのか。</p> <p>先ほどの話のとおり、2年生が4つの領域に行かれたときに、「入ってよかった」って思っていたいただければ「同級生少なかったけど濃密な時</p>

	<p>間を過ごすことができた」となるし、逆に「入ってみたけど、高度な実験装置ばかりあったけど、何だか訳が分かんないうちに終わってしまった」ということもあると思います。</p> <p>今いらっしゃる1年生2年生の方たちへの、自分の学校に対するロイヤリティが低下しないような心のケアと言ったら大げさになりますが、それプラス、この先頭を走っている2年生に対して、今まで以上に入ってよかったと思えるようなお導きをぜひしていただきたいと思います。</p> <p>我々の業界でCSとよく言うんですけど、お客様は中学生ですので、我々の業界では、カスタマーサティスファクションよりも、「我々のお店は、そのお客様が新しいお客様を紹介していただけるようなお店ですか」みたいなものが問われているわけで、それは今の1年生2年生が「入ってよかった」と言えば言うほど、先生も保護者もそういう学校だと認識してくれる、そういうきっかけになると思いますし、ぜひそういう観点でお願いしたいと思います。</p> <p>もう1つ、この学校には莫大な設備投資をされているはずなんですよ。仮に生徒の数が少なければ使い放題なのかもしれませんが、逆に言うと、使用頻度が少なくて宝の持ち腐れになってしまうかもしれない。</p> <p>これは私の突拍子もない話かもしれませんが、例えば、高校を卒業した後も、学校に来て、その研究施設で先生と一緒に自分の課題の研究や実験ができるとか、そういうことが少しでもできれば、ここに行けば卒業後もまた好きな研究ができるのかな、みたいな方法もあると思います。</p> <p>ぜひ、今いらっしゃる1年生2年生の皆さんからニーズを聞き出していただいて、ミスマッチが起きないように、知恵を出していただきたい。よろしくをお願いします。</p>
教 育 長	今年度の4領域について何かありますか。
高 校 教 育 課	領域ごとに、大学であったり、企業であったり、研究者であったり、外部の方の活用を去年から行っておりますので、今年も領域ごとに学校で人選をしながら、計画を立てて進めるところで、5月には情報の領域で、外部講師を招いたセミナーをやっているところでございます。引き続き行っていきたいと思っております。
教 育 長	<p>昨年度の秋に日本計算工学会と連携協定を結んだのですが、この4領域の専門家が入っておりますので、昨年度は12月7日にキックオフとして、4領域のどの領域を選ぶかという段階で、外部の専門家、特に世界規模な学会で発表されている方もいるので、そういった専門家の講義を入れるスケジュールを組んでいます。</p> <p>ご意見をいろいろいただいた中で、高校教育課と学校が一緒にやっていたらいいところですよ。</p>
中 田 委 員	質問ですが、志願者数より入学者数が増えているのはどういうことですか。
高 校 教 育 課	志願者数はいわゆる1次募集の数を記載しておりますので、2次募集をして、最終的に入学者が増えているというような状況です。
市 原 委 員	先ほどの幡谷委員の話に関係があるんだけど、「この学校にきて本

	<p>当によかった」「この学校は嫌だ」というような在学生の声が、これから中学生が学校を選ぶときに非常に響くと思うんです。</p> <p>当然在校生に関係のある子どもたちが来る可能性があるのですが、在校生のアナウンスはすごく効果があるんじゃないかという気はするんですが、この在校生の意見は反映されているんですか。</p>
高校教育課	<p>昨年度の1年生の話ですが、入学初年度なので、早い段階から学校で小まめにアンケート調査をしています。</p> <p>人数が少ないというのは当然あるんですが、アンケート結果としては「非常に満足している」「学校生活が楽しい」と回答してくれているお子さんが非常に高い割合でして、当然強制はできないんですが、夏休みにいわゆる母校の中学校に顔を出して、「楽しいよ」というようなことを言ってもらえないかという話は、学校を通してお願いをされていて、何人かの生徒は、母校でPRをしてくれたという話は伺っております。</p>
中庭委員	<p>科学技術科の志願者数は少ないけれども、非常に優秀な生徒さんも入学していると聞いたことがあるんです。その子がまずはどのように伸びて、進学していくのかを周りが大きく注目してるところではないかと思えます。</p> <p>前がつくば工科で工業高校でしたので、進路指導に慣れた先生があまりいないのではと不安があるんですが、模擬試験をしてサポート比較をしたり、その生徒の持つ適性に合った進学先を勧めたりといった体制があるのか。科学技術科の1期生が卒業するときに、なるほどこういう結果が出たかと周りに思ってもらえるように、どのような支援がされているのか、進路指導についてお聞きします。</p>
高校教育課長	<p>主に普通教科の先生ということになるかと思うんですが、他の学校で経験のある、いわゆる大学進学について経験がある先生方も、異動しておりますので、その部分について、今後しっかり支援ができる体制になっていく予定です。</p>
高校教育課	<p>学校の中に、総務委員会という校内委員会を持っておりまして、そちらの先生が主になって、授業の改善や進学体制を整えるというようなことを今現在進めております。昨年度の1年生から、いわゆる外部模試を使いながら、客観的な比較というのは、ある程度校内で分析をしながら進めている状況です。</p> <p>学校も我々も1期生の出口というのが非常に重要だというのは認識しておりますので、引き続き進めてまいります。</p>

(2) 非公開審議

発言者	発言内容
【第4号議案】	
	令和7年度使用県立特別支援学校の小・中学部、県立中学校及び県立中等教育学校（前期課程）の教科用図書採択方針並びに市町村教育委員会等が行う教科用図書の採択に関する指導方針について
義務教育課長	資料（非公開）に基づき説明
	（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）
審議結果	承認

発 言 者	発 言 内 容
【第5号議案】 令和7年度使用県立高等学校、県立中等教育学校（後期課程）及び県立特別支援学校（高等部）の教科用図書採択方針について	
高校教育課長	資料（非公開）に基づき説明
	（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）
審 議 結 果	承 認

3 閉 会

教育長が閉会を宣言した。